

第3回目まっかりみらい会議結果

日時：平成30年11月27日（火）午後6時30分～8時00分 場所：役場2階会議室

参加：17名（3グループに分かれグループワーク実施）

○挨拶（総務企画課酒井参事）

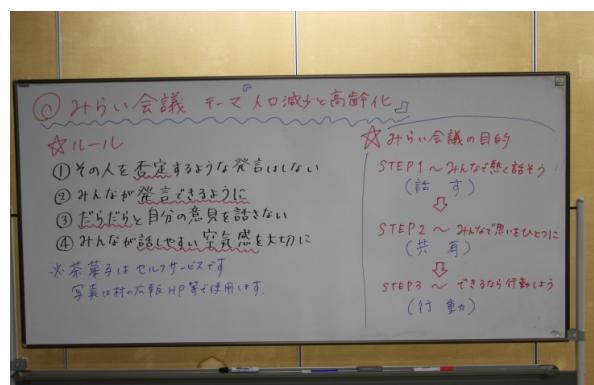
○事業説明

目的～ステップ1（話す）⇒ステップ2（共有）⇒ステップ3（行動）

ルール説明～①発言を否定しない、②みんなが発言できるように、③だらだらと話さない、
④はなしやすい空気感を大切に

前回の振り返り～前回のテーマ「村の観光振興策について」

グループ分け（くじ引きでA～Cグループ）



○人口減少と高齢化について～北海道福心会 佐々木施設長

真狩村における将来の人口推計と高齢化の状況を説明いただきました。

人口減少や高齢化が進む中、私たちは何をすべきか？また、自助・互助・共助・公助について、その必要性と何ができるのか考えさせられました。



○グループワーク（意見交流～講話を聞いて何を感じたか）

佐々木施設長の講話（人口減少と高齢化の現状）を聞いて、各自がどう感じたのかをグループ内で発表し意見交流を行った。



○グループワーク（意見交流～今後、真狩でできる「互助」「共助」とは？）

今後、真狩でこんな支え合いがあったらいいな、こんなことできるのでは？ということを考え意見交流しました。

～グループで話し合った結果～

A グループ

- ・ 高齢者の知恵を継承できる仕組みづくり
- ・ みんなが集まる場所があったらいい
- ・ 地域の結びつきが重要（除雪など協力できる関係性）

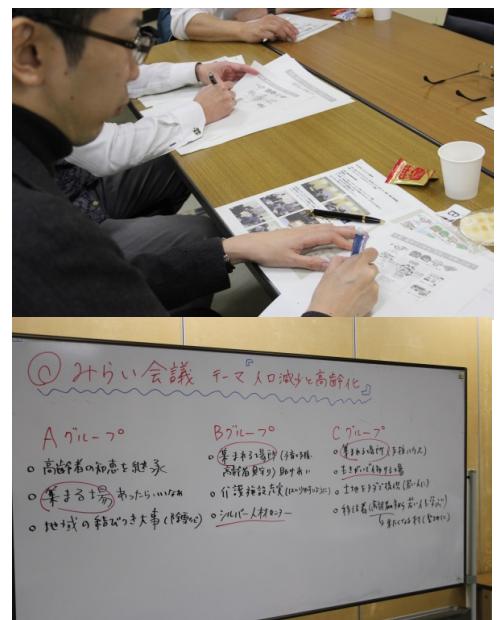
B グループ

- ・ 集まる場所があって双方向の助け合いをすすめる
例) 子育て支援（高齢者）↔高齢者の見守り（若者）
- ・ 介護施設の充実（誰もがサービスを受けられる体制整備）
- ・ シルバー人材センター

C グループ

- ・ 高齢者支援ハウスなど集まる場所
- ・ 生きがいで働ける場所づくり
- ・ 土地を無料で提供し、人口を増やす
- ・ 移住する人が来たくなる村（移住の聖地に）

その中で高齢者から若い人がいろいろなことを学ぶ仕組みづくり



各グループの結果から、「みんなの集まる場所」「高齢者から知恵の継承」「高齢者の働く場」などが必要との意見が共有できました。また、こうした活動の中でいかに「生きがい」として行動できるのかも大きなキーワードだと感じました。

最後に、社会福祉協議会 宮本さん、北海道福心会 佐々木施設長より
講評をいただきました。



参加して頂いた17名の皆さん、お疲れ様でした！
今回、皆さんで考えて頂いたご意見は、今後の人口減少・高齢化対策を考える上での参考とさせて頂きます。
次回は平成31年1月30日（水）です。今回参加できなかった方も是非お待ちしています！